



2022年8月4日

各位

会社名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 齊藤 光次
(コード:3947) 東証スタンダード市場
名証メイン市場
問合せ先 取締役専務執行役員 篠岡 尚久
管理本部長
(電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年3月8日に公表しました2022年12月期第2四半期累計期間(2022年1月1日~2022年6月30日)の連結業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正
(2022年1月1日~2022年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	27,500	50	400	300	30円31銭
今回修正予想(B)	27,700	330	920	600	60円46銭
増減額(B-A)	200	280	520	300	—
増減率(%)	0.7	560.0	130.0	100.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	27,218	537	1,043	763	77円05銭

修正の理由

売上高につきましては、原材料の値上がりの影響を受け実施をしている段ボール製品の価格改定による増収影響がある一方で、当期首より適用されている収益認識会計基準による減収の影響を見込んでおりましたが、概ね当初の業績予想通りに推移しております。

営業利益につきましては、段ボール原紙の値上がり影響により、著しい収益の悪化を想定しておりましたが、原材料値上がりの影響を受け実施している、段ボール製品の価格改定の手続きが、当初の想定よりも進捗していることに加え、修繕・消耗品費等の製造コストの見直しや、内製化などによる収益改善策を実施したことなどによるものであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加影響に加え、急激な円安により、外貨建て資産の評価にともない、為替差益を計上したことなどによるものであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加影響を受けた一方で、収益増加にとまなう法人税等の負担増加によるものであります。

なお、第3四半期以降で原燃料の調達コストだけでなく、物流コストや諸資材の調達コストなどのさらなる高騰により、収益に影響を与えることが想定されますが、現時点においてその影響額を合理的に見積もることが困難なことから、通期の業績予想につきましては2022年3月8日に公表しております業績予想を据え置くこととしております。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上